

会議録

会議名	平成 29 年度 第 2 回 山陽小野田市国民健康保険運営協議会
開催日時	平成 30 年 1 月 18 日 (木) 15 時～16 時 45 分
開催場所	市役所 3 階大会議室
出席委員	雨宮 宏枝 斉藤 邦子 酒井 和枝 峰永三枝子 民谷 正彰 岡野 洋三 藤原 哲 加藤 政明 町田 正勝 平田 武 末富みどり 辻村 征宏 (計 12 名)
欠席委員	藤村 嘉彦 上田 浩之 (計 2 名)
事務担当課 及び事務局出席者	健康福祉部 部長 岩本 良治 国保年金課 課長 桶谷 一博 主幹 安重 賢治 国保係長 石田由記子
会議次第	1 開会 2 部長あいさつ 3 職員紹介 4 会議成立報告 5 議題 ① 平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算について ② 国民健康保険条例の改正について ③ 平成 30 年度国民健康保険特別会計当初予算(案)について ④ 平成 30 年度国民健康保険料率について ⑤ 第 2 期国民健康保険データヘルス計画(素案)について ⑥ その他 6 閉会

議 事 内 容	
	●議事①平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算について
事務局	<資料 1-1・1-2・1-3 を用い説明>
委員	疾病の大分類にある新生物とは何か。
事務局	癌のことである。

	<p><異議無く了承></p>
事務局	<p>●議事②国民健康保険条例の改正について</p> <p><資料 2 を用い説明></p> <p>質疑なし</p> <p><異議無く了承></p>
事務局	<p>●議事③平成 30 年度国民健康保険特別会計当初予算（案）について</p> <p><資料 3-1、3-2、3-3、3-4、3-5、3-6 を用い説明></p>
委員	<p>県が運営主体になると、保険料は安くなるのか。また、市の業務も減少して、全体的な赤字も減少するのか。</p>
事務局	<p>国からの交付金が県に入ることによって、保険料は安くなる可能性はある。しかし、市の業務は、従来からあるものは従来どおりあるため、事務に係る費用は変わらない。</p>
委員	<p>県内の保険料統一はないのか。</p>
事務局	<p>将来的には統一される可能性もある。しかし、当面はない。</p> <p><異議無く了承></p>
事務局	<p>●議事④平成 30 年度国民健康保険料率について</p> <p><資料 4 を用い説明></p>
委員	<p>どういった保険料率を採用しようとしているのか。</p>
事務局	<p>現在よりも低い保険料率を採用したいと考えている。</p> <p><異議無く了承></p>
事務局	<p>●議事⑤第 2 期国民健康保険データヘルス計画（素案）について</p> <p><資料 5 を用い説明></p>
委員	<p>特定健診について、合併後、健康推進委員の活動が低下しているからでは</p>

	ないか。
事務局	ご指摘の理由も大いにある。
委員	国保データヘルス計画は、国保加入者だけが対象か。
事務局	お見込みのとおり。
委員	後期高齢者のデータも、どこかで見られる方法はあるのか。
事務局	後期高齢者のデータも一部入っているので、見られるものもある。
委員	メタボは、年を取ってから手を打っても遅いので、小学校・中学校から楽しいスポーツ・運動を推進することが重要と思う。
事務局	小学校・中学校になると、また別の部署の担当になるので、国保の比較的若い世代にPRするよう努めたい。
委員	健康のために卓球を始めたが、旧小野田地区は卓球ができる施設があるが、旧山陽地区にはあまりないので、そういう点も整備してほしい。
事務局	貴重な意見を頂いたので、今後しかるべき機会にそのような意見があった旨を伝えたい。
	<異議無く了承>